

4. 調査対象へのアンケート用紙発送

厚生労働省は、野性株ポリオウイルスの調査と同時にバイオテロ対策を考慮したアンケートの実施を検討することになった。

したがって作製した「回答様式」：別紙1に内容変更が生じるであろうため、最終案が提示されるまで発送は見合わせることにした。

5. 実施期間

上記4. の理由から、現在未定である。

厚生労働省の指示を待ち、それに従う。

今後の方針

1. 第二群調査対象検索でリストアップした結果に基づき、アンケート用紙を発送。

2. 回答内容の分析・集計

3. 第一群調査結果に関する追跡調査

既に野性株ポリオウイルスを保有すると回答している機関・施設に対し、その後の保管・管理状況を把握するための調査を行なう必要がある。

下記に保有機関・施設を国・公・私別に整理した。

野性型ポリオウイルス保有機関・施設

分類	保有機関・施設数
国公立大学	6
私立大学	1
国立研究機関・施設	8
公立衛生研究所	12
検疫所	1
私立研究機関など	8

尚、大学、研究機関の統廃合に伴う保有状況に関する追跡調査をも兼ねる。

4. 第三群検索

一群、二群検索は機関・施設宛への調査依頼である。そこで調査の徹底を期す目的で、ポリオウイルスに関する研究を行なっている研究者が直接アンケート用紙を受信—返信（回答）する方式を採用する。これを第三群調査とする。

研究者の選定は発表論文を参考にする。 資料1

<回答様式>

平成 年 月 日(回答日)

=====
機関・施設の名称 : _____
国立 公立 私立 (何れかに○)

住所(都道府県名) : _____

機関・施設長氏名(学長、病院長等) : _____ 印

担当責任者氏名(回答に関する問い合わせ先) : _____ 印

電話番号 : _____

FAX 番号 : _____

1. 野生株ポリオウイルスを含む検体等又はこれを含む可能性がある検体等(参考1を参照)を保管していますか。(何れかに○)

はい いいえ

「はい」に○印を付した場合は、続いて2~4の質問に答えて下さい。

2. どの部署・研究室等に保管されていますか。保管している部署・研究室等の名称をすべて記入してください。

(例; 国立感染症研究所ウイルス2部ウイルス第2室 東京太郎)

3. 保管する検体等(参考1を参照)の種類に○印を付して下さい。

A) 野生株ポリオウイルスを含む検体等:

1: ポリオ患者由来 2: 研究材料 3: 環境由来 4: ワクチン株由来

B) 過去に流行した地域および現流行地域由来の検体等

1: ポリオ患者由来 2: 研究材料 3: 環境由来 4: ワクチン株由来

4. 野生株ポリオウイルス又はこれを含む可能性がある検体等の生物学的安全性レベルはBSL-2（参考2）である事を知っていますか。（何れかに○）

はい いいえ

5. 貴機関・施設で調査等の実施にたずさわった(調査等の対象になった)研究室等の総数を()内に記入して下さい。本問は全ての機関・施設への依頼です。

研究室等の総数 ()

6. この調査に対応不能な場合についても簡単な理由を回答して下さい。

(回答欄)

=====

検体等保有の有無にかかわらず、
平成 年 月 日迄に下記番号へご返信下さい。

FAX 番号：03-3624-2272
「野生株ポリオウイルス調査班」

ポリオウイルス関連研究論文検索結果まとめ

医学中央雑誌 2005/03~1990/01 キーワード：ポリオウイルス

1. 総数：350件

2. 年度別発表数：	2004 =37	1999=34	1994=19
	2003=23	1998=24	1993=21
	2002=32	1997=29	1992=24
	2001=23	1996=17	1991=11
	2000=23	1995=27	1990=6
			<hr/>
			計 350

3. 機関・施設別発表数：

国公立大学	99	(28.3%)
大学付属研究所（病院を含む）	31	(8.9%)
研究機関		
国公立	46	(13.1%)
民間	14	(4.0%)
都道府県衛生・環境研究所（保健所を含む）	122	(34.9%)
病院		
国公立	20	(5.7%)
民間	6	(1.7%)
その他（国外から投稿）	12	(3.4%)
計	<hr/>	350

4. 論文形式：	総説=	12
	解説=	66
	原著論文=	164
	会議録=	107
	その他	1（症例報告）
	計	<hr/> 350

5 原著論文、会議録の内容分析

		原著論文及び会議録数=271件	
1	分離ウイルスの型分類・性状分析 人由来（ワクチン投与後を含む）	32	(11.8%)
	環境由来（河川など）	12	(4.4%)
2	疫学的調査 (保有抗体のウイルス型同定を含む)	71	(26.2%)
3	感染・発症・病理 (実験モデルの開発を含む)	69	(25.5%)
4	ワクチン研究・開発 (安定化剤を含む)	4	(1.5%)
5	抗ウイルス物質 (不活化剤を含む)	10	(3.7%)
6	ウイルス検出法 (診断法を含む)	8	(3.0%)
7	その他 (Theiler virus, 種々ウイルス性疾患との関連など)	65	(24.0%)

資料 1

ポリオウイルス関連研究発表論文 (著者別: 350件)
1990~2005 (2005/03/30現在)

著者	論題	雑誌名
1 AkanitapichatPannarat(タイ), KurokawaMasahiko, TewtrakulSupinya, PramyothinPornpen, SripanidkulchaiBungorn, ShirakiKimiyasu, HattoriMasao	単純ヘルペスtype 1, ポリオウイルスtype 1, 及び麻疹ウイルスに対するタイ産薬効植物の抑制活性(Inhibitory activities of Thai medicinal plants against herpes simplex type 1, poliovirus type 1, and measles virus)(英語)	和漢医薬学雑誌 (1340-6302)19巻5号 Page174-180(2002.10) 原著論文
2 ChibaYasuo(国立国際医療センター), MurakamiHitoshi, KobayashiMakoto, ShimizuHiroyuki, YoshidaHiromu, YoneyamaTetsuo, MiyamuraTatsuo,	1999年10月中国青海省における野生ポリオウイルスの感染を合併した灰白髄炎の一例(英語)	Japanese Journal of Infectious Diseases(1344-6304)53巻3号 Page135-136(2000.08) 原著論文/症例報告
3 FujiwaraTakashi(国立予防衛生研究所), YoneyamaTetsuo, HaraMinoru, 他	中国山東省での急性弛緩性麻痺患者からのポリオウイルスの疫学(英語)	Japanese Journal of Medical Science & Biology(0021-5112)46巻4号 Page183-189(1993.08) 原著論文
4 HagiwaraAkio(国立感染症研究所), YoneyamaTetsuo, YoshiiKumiko, YoshidaHiromu, ShimizuHiroyuki, MiyamuraTatsuo	異なる細胞系における糞便材料からのポリオウイルス分離の差(英語)	Japanese Journal of Infectious Diseases(1344-6304)52巻4号 Page164-165(1999.08) 原著論文
5 HagiwaraAkio(国立感染症研究所), YoneyamaTetsuo, YoshiiKumiko, YoshidaHiromu, ShimizuHiroyuki, WadaJunko, ThanhNguyen Thi Hien, TuPhan Van,	西部太平洋地域の急性灰白髄炎根絶を目ざす野生型ポリオウイルスの遺伝子解析(英語)	Japanese Journal of Infectious Diseases(1344-6304)52巻4号 Page146-149(1999.08) 原著論文

- 6 HasegawaAyako(国立感染症研究所), NishioOsamu, KatoYumiko, MatsunoShigeo, InouyeSakae, IsomuraShin パキスタンの小児から分離したポリオウイルスの性状(II)(英語) 日本熱帯医学会雑誌(0304-2146)27巻1号 Page110-111(1999.03) 会議録
- 7 HasegawaAyako(国立予防衛生研究所), 他 西パキスタンの乳幼児から分離されたポリオウイルスの性状(英語) 日本熱帯医学会雑誌(0304-2146)24巻1号 Page78(1996.03) 会議録
- 8 HashidoMadoka(国立感染症研究所), HorieHitoshi, AbeShinobu, DoiYutaka, HashizumeSo, AgboatwallaMubina, IsomuraShin, NishioOsamu, HagiwaraAkio, 結合阻害に基づきポリオウイルス中和関連抗体を型特異的,定量的に測定する為のELISA法の評価(英語) Microbiology and Immunology(0385-5600)43巻1号 Page73-77(1999.01) 原著論文
- 9 IsomuraShin(名古屋大学 医動物), MubinaAgboatwalla, Dure-SaminAkram, 他 パキスタンのカラチにおけるポリオの疫学 1990-1993年の間の前向き研究(英語) Acta Paediatrica Japonica(0374-5600)38巻6号 Page667-671(1996.12) 原著論文
- 10 IsomuraShin(名古屋大学 医動物), MubinaAgboatwalla, Dure-SaminAkram, 他 パキスタン,カラチのポリオに関するウイルス,血清学的研究(1)1990-91年の発生(英語) Acta Paediatrica Japonica(0374-5600)35巻5号 Page382-386(1993.10) 原著論文
- 11 IwataAkiko(国立医薬品衛生研究所 遺伝子細胞医療部), YamaguchiTeruhide, SatoKouei, IzumiRyutaro, TomodaAkio ポリオウイルスに対する2-アミノ-4,4 α -ジヒドロ-4 α -7-ジメチル-3H-フェノキサジン-3-オンの抗ウイルス活性(Antiviral Activity of 2-Amino-4, 4 α -Dihydro- 4 α -7-Dimethyl-3H- Phenoxazine-3-One on Poliovirus)(英語) The Tohoku Journal of Experimental Medicine(0040-8727)200巻3号 Page161-165(2003.07) 原著論文
- 12 IwataAkiko(国立医薬品衛生研究所), SatohKoei, MurataMitsuhiro, HikataMikio, HayakawaTakao, YamaguchiTeruhide 核酸増幅試験における感受性を改良するためにスルホン化磁気ビーズを用いたウイルス濃縮(Virus Concentration Using Sulfonated Magnetic Beads to Improve Sensitivity in Nucleic Acid Amplification Tests)(英語) Biological & Pharmaceutical Bulletin(0918-6158)26巻8号 Page1065-1069(2003.08) 原著論文

- 13 JiaQingmei(東京大学医科学 特に脊髄中で複製するマウス順化ポリオウイ
研究所), OhkaSeii, ルス1型の分離と特徴(英語) 日本薬学会118年会講
IwasakiKuniko, 演要旨集(0918-
NomotoAkio 9823)3号
Page157(1998.03)
会議録
- 14 KaoKo-Pei(台湾), LiuWu- 上肢の若年性末梢性脊髄性筋萎縮症患者のポ
Tse, WangShuu-Jiun, 他 リオ・ウィルスに対する血清中和抗体の欠損
(英語) Brain &
Development(0387-
7604)15巻3号
Page219-
221(1993.06)
原著論文
- 15 KasoloF.C.(国立仙台病院), OPV (oral poliovirus vaccine)免疫された小
他 児よりのmicroplate法によるpoliovirusの分
離(英語) 日本細菌学雑誌
(0021-4930)46巻2
号 Page544-
545(1991.03)
会議録
- 16 KondoYasuhito,MoritaYuki 養殖カキのウィルス浄化試験
o,YamadaAtsushi,KimuraHi
rokazu : 三洋電機 Microbiology and
Immunology,48,038
5-5600,48,8,599-
605,2004.08
原著論文
- 17 KonishiKyoko(国立感染症 In Vitroのエンテロウイルス(ロタウイルス,
研究所), GuYanhong, ポリオウイルス,コクサッキーウイルス)感染
Hatanolkumochi, に及ぼす硫酸コロミン酸の作用(英語) Japanese Journal of
UshijimaHiroshi Infectious
Diseases(1344-
6304)53巻2号
Page62-
66(2000.06)
原著論文
- 18 MentayeBerhane エチオピアにおけるポリオ撲滅 ウイルス学
Beyene(エチオピア), 的調査と急性弛緩性麻痺の調査(Laboratory
TomoriOyewale, and Epidemiology Communications
FemiOywale, SenbetAlmaz Eradication of Poliomyelitis in Ethiopia:
Gebere, Virological and Acute Flaccid Paralysis
WoldemichaelTilahun Surveillance)(英語) Japanese Journal of
Infectious
Diseases(1344-
6304)55巻3号
Page95-
97(2002.08)
原著論文
- 19 MentayeBerhane エチオピアの州によるポリオおよびその他の
Beyene(エチオピア), エンテロウイルスの分離,2000年~2002年
ZelalemMebratu, (Polio and Other Enterovirus Isolation by
AshaAngelo, Region in Ethiopia, 2000- 2002)(英語) Japanese Journal of
TirunehYosef, Infectious
Diseases(1344-
AfeworkAklog, 6304)56巻3号
TedelaMenberu, Page119-
BezunehTsion, 121(2003.08)
SenbetAlmazG, 原著論文

- 20 NomotoAkio(東京大学医科学研究所) 経口ポリオワクチンに熱安定性を与える添加剤の開発(英語) 日本熱帯医学会雑誌(0304-2146)22巻1号 Page22-23(1994.03) 会議録
- 21 NomotoAkio(東京大学医科学研究所) 経口生ポリオワクチン候補株としての組換え体ポリオウイルス(英語) Microbiology and Immunology(0385-5600)37巻3号 Page169-174(1993.03) 総説
- 22 NomotoAkio(東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所) ポリオウイルスの種および組織特異性(英語) Japanese Journal of Medical Science & Biology(0021-5112)44巻2号 Page84(1991.04) 会議録
- 23 ObuchiMasatsugu(金沢医科大学 微生物), OdagiriTakato, IizukaHideaki, OharaYoshiro Theilerウイルスへのリンホトキシン遺伝子の組み込みと発現(英語) Microbiology and Immunology(0385-5600)43巻1号 Page83-86(1999.01) 原著論文
- 24 ObuchiMasatsugu(金沢医科大学 微生物), OharaYoshiro Theilerのネズミ脳脊髄炎ウイルス及びその存続の機序(英語) NEUROPATHOLOGY(0919-6544)18巻1号 Page13-18(1998.03) 総説
- 25 ObuchiMasatsugu(金沢医科大学 微生物), YamamotoJiro, UddinNasir, OdagiriTakato, IizukaHideaki, OharaYoshiro 神経系及び非神経系株化細胞におけるTheilerウイルス(TMEV)の感染・増殖(英語) Microbiology and Immunology(0385-5600)43巻9号 Page885-892(1999.09) 原著論文
- 26 OhkaSeii : 東京大学 医系研究科微生物 弱毒化ポリオウイルスを用いた進行神経芽腫の新しい治療 生化学,76,0037-1017,76,8,729,2004.08 会議録
- 27 OhsawaK.(長崎大学医学部 附属動物実験施設), WatanabeOY., SatoH. ラットから分離したTMRV(自然Theilerのマウス脳脊髄炎ウイルス)様ウイルスの遺伝分析 3D蛋白領域の核特性(英語) Experimental Animals(1341-1357)48巻5号 Page319(1999.12) 会議録

- 28 RoosRaymond P.(米国) Theiler's Murine脳脊髄炎ウイルスが引き起
こす脱髄疾患 多発性硬化症との関連
(Theiler's Murine Encephalomyelitis Virus-
Induced Demyelinating Disease:
Relationship with Multiple Sclerosis)(英語) 金沢医科大学雑誌
(0385-5759)26巻2
号 Page128-
130(2001.06)
会議録
- 29 RoosRaymond P.(米国) Theiler's Murine脳脊髄炎ウイルスが引き起
こす神経疾患 筋萎縮性側索硬化症と神経変
性における新しい展望(Theiler's Murine
Encephalomyelitis Virus-Induced Neuronal
Disease: New Perspectives on 金沢医科大学雑誌
(0385-5759)26巻2
号 Page139-
141(2001.06)
会議録
- 30 ShimizuYoshinobu(東北大 酸化電位水の殺ウイルス並びに殺菌効果 酸 歯科基礎医学会雑誌
学 歯 口腔細菌), SugawaraHiroko 化電位水と次亜塩素酸の消毒効果の比較(英 語) (0385-0137)38巻5
号 Page564-
571(1996.10)
原著論文
- 31 ShiomiHiroshi(札幌医科大 凍結乾燥Sabinポリオワクチンの熱安定性 Japanese Journal of
学 衛生), UrasawaTomoko, (Heat Stability of the Lyophilized Sabin Infectious
UrasawaShozo Poliovaccine)(英語) Diseases(1344-
6304)56巻2号
Page70-
72(2003.06)
原著論文
- 32 SrivastavaAshok Kumar(長 神経毒性ポリオウイルス1型の感染性 遊走, 熱帯医学(0385-
崎大学熱帯医学研究所), 中和に対するしょ糖の影響(英語) 5643)31巻1号
KozaJiri, Matyasovalrena Page1-6(1989.03)
原著論文
- 33 TaniNaoto(奈良県衛生研究 都市河川水中のアデノウイルス,エンテロウ Microbiology and
所), DohiYoshiko, イルス,レオウイルスの季節的分布(英語) Immunology(0385-
KurumataniNorio, 他 5600)39巻8号
Page577-
580(1995.08)
原著論文
- 34 YoneyamaTetsuo(国立感染 1999年日本で分離されたポリオウイルスの Japanese Journal of
症研究所), KarojiYoshiaki, サーベイランス(英語) Infectious
WatanabeKanakano, Diseases(1344-
TsuchiyaMisako, 6304)53巻2号
NakanoMamoru, Page90-
MiyamuraTatsuo 91(2000.06)
原著論文

- 35 YoneyamaTetsuo(国立感染症研究所), SakaeKenji, BabaJunichi, NakayamaTakashi, ChijiwaKatsumi, KizoeKazuhiro, ShimizuHideaki, IizukaSetsuko, IshizakiTohru, KondoReiko, 2000年における日本でのポリオウイルス単離のサーベイランス(Surveillance of Poliovirus-Isolates in Japan, 2000)(英語) Japanese Journal of Infectious Diseases(1344-6304)54巻2号 Page80-82(2001.06) 原著論文
- 36 YoneyamaTetsuo(国立感染症研究所), SasagawaAkira, KikuchiMasayuki, NodaNobuji, ShinkawaNaomi, YoshidaKimi, MiyamuraTatsuo 2001年に日本国内で分離されたポリオウイルスのサーベイランス(Surveillance of Poliovirus-Isolates in Japan, 2001)(英語) Japanese Journal of Infectious Diseases(1344-6304)55巻2号 Page57-58(2002.06) 解説
- 37 YoneyamaTetsuo(国立感染症研究所), SawadaHarumi, SekineHiromasa, SasagawaAkira, FutohashiYoshitaka, SakuraiNakao, YokotaYoko, IshizakiToru, KarojiYoshiaki, NakanoMamoru, KajiwaraKazuhiro, HagiwaraAkio, 1998年,日本におけるポリオウイルス分離例のサーベイランス(英語) Japanese Journal of Infectious Diseases(1344-6304)52巻1号 Page19-20(1999.02) 原著論文
- 38 YoneyamaTetsuo(国立感染症研究所), YoshidaHiromu, YoshiiKumiko, WadaJunko, ShimizuHiroyuki, MiyamuraTatsuo ポリオウイルスの鋭敏な検出に対する便2検体検査の必要性(Necessity of Two-Stool Sample Test for Sensitive Detection of Poliovirus)(英語) Japanese Journal of Infectious Diseases(1344-6304)54巻6号 Page250-251(2002.02) 会議録
- 39 YoshiiKumiko(国立感染症研究所), YoneyamaTetsuo, ShimizuHiroyuki, YoshidaHiromu, HagiwaraAkio ポリオウイルスに対する細胞の感受性(英語) Japanese Journal of Infectious Diseases(1344-6304)52巻4号 Page169(1999.08) 原著論文
- 40 YoshimuraKayoko(土佐市立土佐市民病院), KurashigeTakanobu 急性脊髄前角炎様症候群の症例(英語) Brain & Development(0387-7604)20巻7号 Page540-542(1998.10) 原著論文

- 41 安孫子千恵子(山形県衛生研究所), 水田克巳, 村田敏夫, 村山尚子 2002年における山形県民のポリオウイルス抗体保有状況 山形県衛生研究所報(0513-4706)36号 Page62-63(2003.12) 原著論文
- 42 安藤秀二(富山県衛生研究所), 中山喬, 長谷川澄代, 松浦久美子, 石倉康宏, 北村敬 富山県における平成11年度のウイルスおよびリケッチア検査状況 富山県衛生研究所年報(0917-0707)23号 Page157-159(2000.10) 原著論文
- 43 安部忍(日本ポリオ研究所), 田野良夫, 太田芳宏, 堀江均, 宮沢美和子, 若林建吾, 山本浩, 土居穰, 橋爪壯 弱毒セービン株を用いた強化不活化ポリオワクチン開発の基礎的, 臨床的評価 臨床とウイルス(0303-8092)27巻4号 Page248-261(1999.09) 原著論文
- 44 井上敦(信州大学 第3内科), 他 タイラー脳脊髄炎ウイルス(TMEV)による免疫性脱髄疾患における抗IL12抗体の影響 臨床神経学(0009-918X)37巻12号 Page1260(1997.12) 会議録
- 45 井上敦(信州大学 第3内科), 他 抗CD40L抗体投与によるタイラー脳脊髄炎ウイルス(TMEV)による免疫性脱髄疾患の抑制 臨床神経学(0009-918X)36巻12号 Page1474(1996.12) 会議録
- 46 井上敦(木曾病院), 高昌星, 池田修一, 八木田秀夫 Theiler脳脊髄炎ウイルスによる免疫性脱髄疾患(TMEV-IDD)におけるOX40 ligandの役割 臨床神経学(0009-918X)40巻12号 Page1442(2000.12) 会議録
- 47 磯村思无(愛知県衛生研究所), 他 パキスタン・カラチ地区のポリオの臨床像とウイルス検査(英語) 日本熱帯医学会雑誌(0304-2146)20巻1号 Page55(1992.03) 会議録
- 48 磯村思无(愛知県衛生研究所), 他 パキスタン・カラチ地区のポリオの臨床像とウイルス検査 日本熱帯医学会雑誌(0304-2146)19巻増刊 Page41(1991.10) 会議録
- 49 磯村思无(名古屋大学 医動物) パキスタン・カラチ地区におけるポリオとポリオワクチンに関する調査研究 Modern Media(0026-8054)40巻12号 Page573-579(1994.12) 原著論文
- 50 宇加江進(札幌医科大学 小児科), 中田修二, 足立憲昭, 他 ロタウイルスワクチンMMU-18006株とポリオワクチンの同時接種に関する検討 臨床とウイルス(0303-8092)20巻1号 Page48-52(1992.03) 原著論文

- 51 浦澤价子(札幌医科大学 保健医療学部 看護学科) ポリオと共に歩んだ研究生活 札幌医科大学 最終講義より 臨床小児医学(0035-550X)50巻1~2 Page3-13(2002.04) 総説
- 52 栄賢司(愛知県衛生研究所), 山下照夫, 石原佑弉, 他 パキスタン,カラチ地区におけるポリオのウイルス学的研究 臨床とウイルス (0303-8092)22巻4号 Page314-319(1994.10) 原著論文
- 53 栄賢司(愛知県衛生研究所), 他 パキスタン,カラチ地区におけるポリオの研究 臨床とウイルス (0303-8092)21巻2号 PageS65(1993.03) 会議録
- 54 永田典代(国立感染症研究所), 岩崎琢也, 佐多徹太郎, 長谷川秀樹, 倉田毅, 原嶋綾子, 佐藤由子, 網康至, 清水博之 エンテロウイルス71とポリオウイルスの神経病原性:カニクイザルでの解析 日本病理学会会誌 (0300-9181)90巻1号 Page348(2001.03) 会議録
- 55 横田陽子(滋賀県立衛生環境センター), 武壘好美, 米山徹夫, 他 ポリオウイルス3型野生株の分離 医学のあゆみ(0039-2359)167巻3号 Page181-182(1993.10) 原著論文
- 56 岡部信彦(国立感染症研究所) 【小児の感染症】 ウイルス ポリオ 小児科臨床(0021-518X)51巻12号 Page2565-2568(1998.12) 解説/特集
- 57 岡部信彦(国立感染症研究所 感染症情報センター) 【小児の診療と指導のガイドラインと使い方】 感染症 「感染症の診断・治療ガイドライン」日本医師会感染症危機管理対策室 ポリオ 小児科臨床(0021-518X)55巻増刊 Page1251-1260(2002.07) 解説/特集
- 58 沖村容子(宮城県保健環境センター), 渡部綾, 上村弘, 秋山和夫, 白石廣行 宮城県におけるポリオ中和抗体保有状況 宮城県保健環境センター年報(0910-9293)16巻 Page49-52(1998.11) 原著論文
- 59 音羽健司(NTT東日本関東病院 精神神経科), 加藤千枝子, 栃木衛, 梅景正, 佐々木司 統合失調症の病因としての感染と免疫 精神科(1347-4790)3巻3号 Page306-314(2003.09) 総説

- 60 花山耕三(東海大学 医学部リハビリテーション科学) ポリオ後症候群 障害像とリハビリテーション リハビリテーション医学(0034-351X)40巻11号 Page771-779(2003.11)
総説
- 61 葛谷光隆(岡山県環境保健センター), 藤井理津志, 濱野雅子, 小倉肇, 小寺正樹 感染症流行予測調査(平成11年度) 岡山県環境保健センター年報(0914-9309)24号 Page70-71(2000.12)
原著論文
- 62 葛谷光隆(岡山県保健福祉部), 藤井理津志, 濱野雅子, 小倉肇, 内川洋之 伝染病流行予測調査(平成10年度) 岡山県環境保健センター年報(0914-9309)23号 Page20-23(1999.12)
原著論文
- 63 茅野文利(国立予防衛生研究所), 衛藤光明, 大川時忠, 他 フィリピンと他の東南アジアの国々からのカニクイザルの弱毒ポリオウイルスに対する多様な感受性(英語) Japanese Journal of Medical Science & Biology(0021-5112)45巻1号 Page9-17(1992.02)
原著論文
- 64 岩井雅恵(富山県衛生研究所), 中山喬, 松浦久美子, 長谷川澄代, 安藤秀二, 永井美之, 遠藤京子, 田中桂子, 飛田忠嗣, 田中有易知, 宮田英喜 ポリオ流行予測調査 富山県衛生研究所年報(0917-0707)26号 Page85-91(2003.10)
原著論文
- 65 岩井雅恵, 松浦久美子, 永井美之, 吉田弘: 国立感染症研究所 宮崎県の感染症発生動向調査事業におけるウイルス検出報告(2000年) 富山県衛生研究所年報,,0917-0707,,27,101-105,2004.1
原著論文
- 66 岩井雅恵, 松浦久美子, 長谷川澄代, 安藤秀二, 小原真弓, 永井美之, 番留忠司, 田中桂子, 飛田忠嗣, 田中有易知, 瀧波賢治: 富山県高岡厚生セン 【新世紀の感染症学 ゲノム・グローバル時代の感染症アップデート】 感染症の遺伝子学 ウイルスの遺伝子学 プラス1本鎖RNA ウイルス ピコルナウイルス科 ポリオウイルス 富山県衛生研究所年報,,0917-0707,,27,78-83,2004.1
原著論文
- 67 岩井淳(東京大学医科学研究所), 小出のり, 豊田春香, 白木和子, 野本明男 ポリオウイルスIRESに結合する宿主細胞蛋白質,PCBP(poly(rC) binding protein)-1,-2の解析 日本農芸化学会誌(0002-1407)71巻臨増 Page134(1997.03)
会議録
- 68 岩橋輝明(信州大学 第3内科), 井上敦, 高昌星 タイラー脳脊髄炎ウイルスによる免疫性脱髄疾患のiNOS阻害薬による抑制効果に関する研究 臨床神経学(0009-918X)39巻1号 Page257(1999.01)
会議録

- 69 岩橋輝明(信州大学 第3内科), 他 タイラー脳脊髄炎ウイルス(TMEV)による免疫性脱髄疾患(TMEV-IDD)の免疫組織学的検討 臨床神経学(0009-918X)37巻12号 Page1261(1997.12)会議録
- 70 岩橋輝明(信州大学 第3内科), 他 タイラー脳脊髄炎ウイルス(TMEV)による免疫性脱髄の免疫組織学的検討 臨床神経学(0009-918X)36巻12号 Page1474(1996.12)会議録
- 71 喜多正和(京都府立医科大学微生物), 山地正博, 鬼頭稲穂, 他 遺伝子組換えヒトインターフェロン- γ (SUN4800)の抗ウイルス活性 臨床医薬(0910-8211)8巻Suppl.2 Page37-43(1992.02)原著論文
- 72 吉光千記(広島市民病院(社保)小児科), 大和愛, 石川暢恒, 木村健秀, 高田啓介, 小川和則, 鎌田政博, 伊予田邦昭, 岡崎富男 【感染症】 腸重積症及び出血性膀胱炎におけるアデノウイルスの関与 小児科臨床(0021-518X)55巻10号 Page1903-1905(2002.10)原著論文/特集
- 73 吉田弘(国立予防衛生研究所), 他 フィリピンのポリオ様患者からのウイルス分離 臨床とウイルス(0303-8092)22巻2号 Page61(1994.05)会議録
- 74 吉田真理子(久留米大学 ウイルス) アフリカの野生動物から分離されたウシエンテロウイルスの性状 久留米医学会雑誌(0368-5810)55巻7号 Page418-430(1992.07)原著論文
- 75 吉田哲也(広島大学 大学院医歯薬総合研究), 永井美之 【感染症 病態と病理診断へのアプローチ】 ウイルス感染症における臓器特異性 病理と臨床(0287-3745)21巻臨増 Page45-56(2003.03)解説/特集
- 76 吉田靖子(東京都立衛生研究所), 矢野一好, 藪内清 マガキによるポリオウイルスの蓄積実験 東京都立衛生研究所研究年報(0082-4771)39号 Page49-53(1988.12)原著論文
- 77 宮村紀久子(国立予防衛生研究所), 山下和予, 山寺静子, 他 ポリオウイルスサーベイランス:日本におけるポリオウイルス分離状況1980-1991(英語) Japanese Journal of Medical Science & Biology(0021-5112)45巻4号 Page203-214(1993.01)原著論文

- 78 宮村達男(国立感染症研究所 ウイルス第二部) 【最近のワクチン】 ポリオ根絶の戦略 最新医学(0370-8241)57巻9号 Page1905-1911(2002.09) 解説/特集
- 79 宮村達男(国立感染症研究所) 【ワクチンの問題点とそれに対する考え方】 世界ポリオ根絶計画とワクチン戦略 小児科(0037-4121)43巻5号 Page557-561(2002.05) 解説/特集
- 80 宮村達男(国立感染症研究所) 日本のポリオコントロール Medical Practice(0910-1551)14巻6号 Page1020-1022(1997.06) 解説
- 81 宮沢美和子(日本ポリオ研究所), 橋戸円, 堀江均, 安部忍, 土居穰, 橋爪壮 血清中抗ポリオウイルス中和抗体のELISAによる測定 臨床とウイルス (0303-8092)28巻2号 PageS43(2000.05) 会議録
- 82 宮沢美和子(日本ポリオ研究所), 他 混合単クローン抗体を利用した変異ポリオウイルスの検出 臨床とウイルス (0303-8092)25巻2号 Pages89(1997.05) 会議録
- 83 宮沢美和子(日本ポリオ研究所), 堀江均, 清水文七, 橋爪壮 ELISAによるヒト血清中の抗ポリオウイルス抗体価の測定 臨床とウイルス (0303-8092)30巻2号 PageS83(2002.05) 会議録
- 84 橋爪壮(日本ポリオ研究所) 我が国で未解決のワクチン問題を考える ポリオ撲滅計画の進展とこれからのポリオ予防接種のありかた 小児感染免疫(0917-4931)13巻1号 Page47-52(2001.04) 解説
- 85 鎌塚眞(長崎県衛生公害研究所), 上田竜生, 右田雄二, 野口英太郎, 米山徹夫, 清水博之, 吉田弘, 吉井久美子, 萩原昭夫 ポリオワクチン被投与児及びその母親からのウイルス分離 臨床とウイルス (0303-8092)28巻3号 Page143-150(2000.07) 原著論文
- 86 原田誠三郎(秋田県衛生科学研究所), 鎌田和子, 斎藤博之, 他 平成8年度のポリオ感受性調査成績について 秋田県衛生科学研究所報41号 Page55-59(1998.01) 原著論文

- 87 原田誠三郎(秋田県衛生科学研究所), 田中恵子, 斎藤博之, 他 平成5年度ポリオ流行予測感受性調査成績について 秋田県衛生科学研究所報38号 Page55-59(1995.01)
原著論文
- 88 原稔(国立予防衛生研究所) 免疫学的検査 ポリオウイルス 日本臨床(0047-1852)48巻増刊 広範囲血液・尿化学検査, 免疫学的 Page348-351(1990.02)
原著論文
- 89 原稔(中華人民共和国) ポリオ根絶計画のアジア地域での進展 中国のポリオ対策 実験室の立場から ウイルス(0042-6857)45巻1号 Page65-66(1995.06)
解説/特集
- 90 古田博文(札幌市立札幌病院), 内藤広行, 福島直樹, 富樫武弘, 藤田晃三 ポリオワクチン接種後に両眼筋麻痺を呈し, 咽頭・便・髄液からポリオウイルスが分離された1例 小児感染免疫(0917-4931)14巻2号 Page176-177(2002.07)
会議録/症例報告
- 91 御代田恭子(宮城県仙北食肉衛研), 植木洋, 秋山和夫, 他 マイクロプレート法によるポリオ流行予測調査(感染源)結果 1987~1990年までの成績から 宮城県保健環境センター年報(0910-9293)9号 Page53-55(1991.11)
原著論文
- 92 幸道秀樹(東京大学医科学研究所) 骨髄移植の将来に向けて移植後の抗原特異的抗体産生の解析とドナーVaccinationの可能性 移植後のpoliovirusに対する抗体変動 臨床血液(0485-1439)第29回総会抄録集 Page138(1987.10)
会議録
- 93 高橋稔(札幌医科大学 医学部 第四内科), 佐藤康史, 佐藤勉, 井山論, 住吉徹哉, 山田康之, 深浦純生, 奥隆臣, 高橋祥, 町田卓郎, 佐川保, 新津洋 【膵癌の研究・診療における新たな展開 ノム医学の導入】 膵癌遺伝子治療の可能性をさぐる ゲ胆と膵(0388-9408)24巻5号 Page363-370(2003.05)
解説/特集
- 94 高戸谷千志美(信州新町保健介護セ) 町の保健婦ってこんなことをしています 予防接種狂騒曲 訪問看護と介護 (1341-7045)5巻4号 Page312-313(2000.04)
解説
- 95 高田久(金沢医科大学 脳神経外科) マクロファージにおけるTheilerウイルスの感染・増殖に関する遺伝子領域の検討 金沢医科大学雑誌 (0385-5759)23巻3号 Page132-139(1998.09)
原著論文

- 96 高田久(金沢医科大学 脳神経外科), 他 Theilerウイルス(TV)のマクロファージにおける感染・増殖に関する遺伝子の決定 臨床神経学(0009-918X)37巻12号 Page1183(1997.12)会議録
- 97 黒岩宙司(東京大学 大学院 国際保健計画), 山中美紀, 宮沢美和子, 堀江均, 吉田弘 根絶宣言前後のラオスにおけるポリオ抗体価の検討 臨床とウイルス(0303-8092)31巻2号 PageS71(2003.05)会議録
- 98 今村宜寛(久留米大学 ウィルス), 豊田哲也 昭和50年から52年出生者におけるポリオウイルス1型に対する血中抗体価測定 医学検査(0915-8669)48巻4号 Page756(1999.04)会議録
- 99 斎藤幸一(岩手県衛生研究所), 伊藤隆夫 岩手県における伝染病流行予測調査(昭和63年度) 岩手県衛生研究所年報(0917-7922)31号 Page68-69(1989.11)原著論文
- 100 斎藤幸一(岩手県衛生研究所), 熊谷学, 田村道子, 他 岩手県における伝染病流行予測調査(平成3年度) 岩手県衛生研究所年報(0917-7922)34号 Page71-73(1992.11)原著論文
- 101 斎藤幸一(岩手県衛生研究所), 藤野訓男, 島守久生 昭和62年度岩手県における伝染病流行予測調査(日本脳炎・ポリオ・インフルエンザ)について 岩手県衛生研究所年報(0917-7922)30号 Page71-72(1988.11)原著論文
- 102 斎藤邦明(岐阜大学 臨検査医), 他 ポリオウイルス感染サルにおける髄液中のアポタンパク濃度について 臨床病理(0047-1860)42巻補冊 Page74(1994.08)会議録
- 103 三井士子(北里大学 薬), 他 ヒトポリオウイルスレセプターのウイルス認識部位のコンピュータグラフィックス 日本薬学会110年会講演要旨集(0918-9823)3号 Page109(1990.08)会議録
- 104 三浦裕之(弘前大学 第3内科), 小川正也, 馬場雅之, 他 Progressive postpoliomyelitis muscular atrophy(PPMA)でのポリオウイルス抗体価測定の意義 神経内科(0386-9709)42巻3号 Page283(1995.03)一般/症例報告
- 105 三上稔之(青森県環境保健センター), 木村淳子, 佐藤允武, 他 エンテロウイルス感染によるアポトーシスの誘導 青森県環境保健センター研究報告(0917-1924)5号 Page5-7(1995.03)原著論文

- 106 三輪智恵子(岐阜県衛生研究所), 渡辺豊 ウイルス分離状況と分離方法との関連性について 岐阜県衛生研究所報 (0385-1575)35号 Page1-8(1990.11) 原著論文
- 107 山下照夫(愛知県衛生研究所), 柴賢司, 石原佑弐, 他 屋内温水プール水の微生物ならびに理化学検査と塩素によるウイルス不活化効果 日本公衆衛生雑誌 (0546-1766)37巻 12号 Page962-966(1990.12) 原著論文
- 108 山岸公子(東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所) ポリオウイルスベクターとその人工合成 蛋白質・核酸・酵素 (0039-9450)37巻 14号 Page2707-2711(1992.10) 原著論文
- 109 山岸公子(東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所), 他 CTA遺伝子を組み込んだキメラポリオウイルスの作製 日本薬学会110年会講演要旨集(0918-9823)3号 Page109(1990.08) 会議録
- 110 山岸公子(東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所), 他 RNAレプリコンとしてのポリオウイルスゲノムの解析 生化学(0037-1017)61巻9号 Page1123(1989.09) 会議録
- 111 山崎賢智(九州大学 神経内科), 吉良潤一, RoosRaymond P. L*を導入した変異GDVIIウイルスの検討 臨床神経学(0009-918X)40巻12号 Page1405(2000.12) 会議録
- 112 山田猛(九州大学医学部附属脳神経病研究施設), 吉良潤一 【神経症候群(I)】 炎症性疾患 急性ウイルス感染症 ポリオウイルス1-3型 日本臨床(0047-1852)別冊神経症候群 I Page436-440(1999.05) 解説/特集
- 113 山本治郎(金沢医科大学 脳神経外科) 持続感染及び脱髄におけるタイラーウイルス L*蛋白の役割 金沢医科大学雑誌 (0385-5759)25巻3号 Page234-241(2000.09) 原著論文
- 114 山本治郎(金沢医科大学 脳神経外科), 飯塚秀明, 小淵正次, 大原義朗 Theiler(TV)ウイルスのマウス神経系株化細胞における感染・増殖 臨床神経学(0009-918X)39巻1号 Page194(1999.01) 会議録
- 115 山本悌司(福島県立医科大学 神経内科学 教室) 【理解して実践する 感染症診療・投薬ガイド】 疾患各論 2類感染症 ポリオ 総合臨床(0371-1900)52巻増刊 Page1202-1210(2003.03) 解説/特集